

令和6年3月定例会 第128号

# 栄町議会だより

発行 栄町議会だより編集委員会

## 令和6年度当初予算、副町長の選任などを可決

令和6年第1回定例会（3月議会）が、3月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。本定例会には、条例の一部改正、6会計の補正予算、令和6年度の当初予算、副町長の選任、発議案、請願など合わせて28件の議案等が提出され、1議案が否決され、請願は不採択となりました。  
なお、今定例会における一般質問は9名、傍聴者は延べ37名でした。

### 橋本町長の行政報告

この度の能登半島地震において犠牲になられた方と  
そのご家族の皆様に対し、  
心から哀悼の意を表すると  
ともに、被害にあわれた  
方々に対しお見舞いを申し  
上げます。

### 能登半島地震被災地への職員応援派遣について

千葉県からの依頼を受け、石川県珠洲市の被災地  
応援として、住家被害調査  
支援及び避難所運営支援の  
ため、3月末までに5名の  
職員の派遣を予定していま

す。今後も被災地の復旧のため、引き続き出来る限りの支援をおこなってまいります。

### 給食センター用地の検討について

2月14日付けで教育長より「給食センター用地の検討について」、能登半島地震災害の総括や検証による国の防災対策の動向を注視しつつ、町議会の議決を経て用地取得をしている「ふれあいプラザ臨時駐車場用地」や他の候補地を含めた建設用地の適否についても再検証するとともに、引き続き、学校給食センターの

多機能化や建設経費の縮減に向けた様々な検討を教育委員会と町部局が連携して進められるよう、教育委員会議で決定したことについて、申し出がありましたので、受理したことをご報告いたします。

これを受け、教育委員会と協力して、改めて検討していくことといたします。

### 地方創生臨時交付金を活用した事業について

3月補正予算（案）で計上させていただいております、住民税均等割のみ課税世帯へ10万円の給付、住民税均等割のみ課税世帯及び住民税非課税世帯の子どもを対象とした5万円の給付を順次実施してまいります。

なお、引き続き令和6年度には、「新たに住民税非課税となる世帯」及び「新たに住民税均等割のみ課税となる世帯」への給付、「4万円の定額減税」、「定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方への給付」を実施してまいります。

### 栄中学校卓球部の全国選抜および関東選抜大会への出場について

この度、男子が3月23日（土）～24日（日）に群馬県で行われる「第25回全国

中学選抜卓球大会」と3月16日（土）～17日（日）に栃木県で行われる「第30回関東中学校選抜卓球大会」に出場します。女子は、「団体戦」と「女子シングルス」の選手が関東選抜大会に出場することになりました。

### メジャーリーグ大谷選手よりグローブが寄贈されたことについて

大谷翔平選手から全国の小学校に向け右利き用グローブ2個と左利き用グローブ1個が寄贈されました。また、グローブの寄贈に併せて、栄町少年野球連盟から各小学校にボールを10個ずつ、寄贈されました。リバーサイドさかえドラムマラソンについて

2月19日に、ふれあいプラザさかえを会場に、全国から1,940名の参加をいただき、親子の部の1キロから、ハーフの部までの5つの距離を、楽しく走っていました。大会当日は、沿道等でのランナーへの温かいご声援、ありがとうございました。

### 2024栄町ふれあい文化祭の開催について

3月2日と3日に、2024ふれあい文化祭を開催しました。

ふれあいプラザさかえを利用してのサークルなどの様々な団体が、日々の活動成果を発表していました。すべてが素晴らしい作品で、皆さまの日頃の頑張りが伝わってきました。さくらまつりの開催について

恒例となっているドラムの里の「さくらまつり」を房総のむらの「さくらまつり」と同日開催として、3月23日（土）・24日（日）の2日間、開催いたします。是非、ドラムの里に足を運んでいただければと思います。

### 県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの開通について

3月27日（水）午後2時に開通することが決定しました。

これにより、北総線印旛日医大駅方面及び成田空港への通勤・通学の利便性が格段に高まることから、沿線の土地利用活性化に向けた取り組みをしっかりと進めてまいります。

※この行政報告は、定例会初日（3月5日）に行われたもので、現時点の状況と異なる場合があります。

## 議 案 審 議

**議案第1号 全員賛成**  
専決処分を報告し承認を  
求めることについて

住民税均等割世帯子ども  
加算臨時特別給付金支給及  
び住民税非課税世帯子ども  
加算臨時特別給付金の支給  
に係る事務費等について、  
令和5年度栄町一般会計補  
正予算（第9号）により専  
決処分したので、議会へ報  
告し、承認を求めるものです。

**議案第2号 全員賛成**

**栄町副町長の選任について**  
任期満了に伴い、栄町副  
町長を選任すべく、議会の  
同意を求めるものです。

古川 正彦 氏

**議案第3号 全員賛成**

**栄町監査委員に関する  
条例及び栄町下水道事業  
の設置等に関する条例の  
一部を改正する条例**

地方自治法の改正によ  
り、条例中で引用する同  
法の規定の条項名につい  
て改正を行うとともに、  
これに併せてその他の規  
定を整理するものです。

**議案第4号 全員賛成**

**栄町矢口工業団地拡張事  
業特別会計設置条例を廃止  
する条例**

矢口工業団地拡張事業に  
ついて、特別会計において  
経理等をする必要性がなく  
なったことから、その特別  
会計を廃止するものです。

**議案第5号 全員賛成**

**栄町東日本大震災復興基  
金条例を廃止する条例**

栄町東日本大震災復興基  
金について、令和5年度を  
もって対象事業に全額を充  
当したため、同基金を廃止  
するものです。

**議案第6号 全員賛成**

**栄町都市計画税条例の一  
部を改正する条例**

都市計画税の課税対象と  
なる土地又は家屋が所在す  
る地番を規定する区域につ  
いて、土地の合筆等に円滑  
に対応できるように所要の改  
正を行うものです。

**議案第7号 全員賛成**

**栄町手数料条例の一部を  
改正する条例**

地方公共団体の手数料の  
標準に関する政令の改正を  
踏まえ、貯蔵所の設置許可  
申請に対する審査に係る手  
数料の額の引上げについて  
改正を行うものです。

**議案第8号 全員賛成**

**栄町重度心身障害者  
(児)の医療費の助成に関  
する条例の一部を改正する  
条例の一部を改正する条例**

所得制限により助成の対  
象外となる高額治療継続者  
を重度心身障害者医療費助  
成の対象とする経過措置に  
ついて、期間の延長を円滑  
に実施できるように規定の整  
備を行うものです。

**議案第9号 賛成多数**

**栄町介護保険条例の一部  
を改正する条例**

第9期介護保険事業計画  
に基づき、第1号被保険者  
の保険料率の改正を行うと  
ともに、保健福祉事業の実  
施の追加その他所要の改正  
を行うものです。

**議案第10号 全員賛成**

**栄町指定地域密着型サー  
ビスの事業の人員、設備及  
び運営に関する基準等を定  
める条例等の一部を改正す  
る条例**

指定地域密着型サービ  
スに係る基準等の改正を踏  
まえ、書面揭示規制の見直  
し、管理者の兼務範囲の明  
確化、身体的拘束等の適正  
化の推進その他所要の改正  
を行うものです。

**議案第11号 全員賛成**

**栄町道路線の認定について**  
栄町南字下未高464番  
6外の宅地開発に伴い、町  
が帰属を受けた区画道路に  
ついて、町道として認定す  
るため、議会の議決を求め

るものです。

**議案第12号 全員賛成**

**令和5年度栄町一般会計  
補正予算（第10号）**

歳入歳出それぞれ3、  
469万5千円を増額し、  
総額を84億9、551万円  
とするものです。

増額の主なものは、歳入  
では、地方交付税、国庫補  
助金などによるものです。  
歳出では、住民税均等割世  
帯子ども加算臨時特別給付  
金事業、保育委託事業など  
によるものです。

**議案第13号 全員賛成**

**令和5年度栄町国民健康  
保険特別会計補正予算（第  
4号）**

歳入歳出それぞれ4  
74万4千円を減額し、総  
額を27億8、370万2千  
円とするものです。

減額の主なものは、歳入  
では、県支出金、一般会計  
繰入金などによるもので  
す。歳出では、生活習慣病・  
重症化学予防事業、国保デー  
タヘルス計画策定事業など  
によるものです。

**議案第14号 全員賛成**

**令和5年度栄町後期高齢  
者医療特別会計補正予算  
（第2号）**

歳入歳出それぞれ1、  
552万円を増額し、総額

を3億2、838万2千円  
とするものです。

増額の理由は、歳入で  
は、後期高齢者医療保険  
料、保険基盤安定繰入金に  
よるものです。歳出では、  
後期高齢者医療保険料納付  
事業によるものです。

**議案第15号 全員賛成**

**令和5年度栄町介護保険  
特別会計補正予算（第3号）**

歳入歳出それぞれ4、  
073万円を減額し、総額  
を17億9、601万1千円  
とするものです。

減額の主なものは、歳入  
では、支払基金交付金、基  
金繰入金などによるもので  
す。歳出では、介護保険給  
付事業によるものです。

**議案第16号 全員賛成**

**令和5年度栄町矢口工業  
団地拡張事業特別会計補正  
予算（第1号）**

歳入歳出それぞれ1、  
000万円を減額し、総額  
を1千円とするものです。  
減額の理由は、歳入で  
は、事業収入によるもので  
す。歳出では、工業団地拡  
張事業によるものです。

**議案第17号 全員賛成**

**令和5年度栄町下水道事  
業会計補正予算（第3号）**

第3条予算の収益的支出  
の予定額を6億93万3千

円に、第4条予算の資本的収入の予定額を4億5,262万9千円に、資本的支出の予定額を5億7,713万9千円に補正するとともに、第5条に定めたる起債の限度額を補正するものです。

補正の主なものは、収益的支出では、消費税等納付金の増額によるものです。資本的収入では、国庫補助金、資本的支出では、公共下水道施設改良費の増額によるものです。

議案第18号、第22号

令和6年度各会計予算審査 令和6年度各会計予算の審査を行うため、議長を除く全議員12名による予算審査特別委員会を設置のうえ、2日間にわたり、各常任委員会の所管事項別に質疑を行い採決した結果、5会計予算とも特別委員会において可決すべきとされ、本会議においても可決されました。

議案第18号

賛成多数 令和6年度栄町一般会計予算

予算規模、総額76億4,710万円で、前年度比4.2%の増。

議案第19号

全員賛成 令和6年度栄町国民健康

保険特別会計予算

予算規模、総額26億4,935万5千円で、前年度比5.4%の減。

議案第20号

全員賛成 令和6年度栄町後期高齢者医療特別会計予算

予算規模、総額3億6,080万2千円で、前年度比15.4%の増。

議案第21号

全員賛成 令和6年度栄町介護保険特別会計予算

予算規模、総額17億8,543万3千円で、前年度比2.7%の増。

議案第22号

全員賛成 令和6年度栄町下水道事業会計予算

予算規模、収益的収入6億2,223万4千円、収益的支出6億3,101万1千円、資本的収入2億7,155万5千円、資本的支出3億8,239万7千円とするものです。

議案第23号

全員賛成 栄町条例の一部を改正する条例

地方税法の改正を踏まえ、令和6年能登半島地震災害の被災者の負担の軽減を図るため、町民税の特例措置を講じるものです。

議案第1号

賛成多数 栄町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び千葉県人事委員会の勧告を受け引上げを行った特別職の期末手当の年間支給月数に準じて、所要の改正を行うものです。

議案第2号

全員賛成 栄町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

議員個人と町との請負の状況を公表すること等により、請負状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的とし制定するものです。

議案第3号

賛成少数 令和6年度栄町一般会計予算に対する附帯決議

令和6年度栄町一般会計予算案の歳出のふれあいプラザさかえ臨時駐車場造成工事について、給食センター建設用地の再検証や多機能化、建設経費の縮減に向けた様々な検討が終わるまでは、執行しないよう求めるものです。

請願第1号

賛成少数 学校給食センターの立地見直しを求める請願書

給食センターの建設予定地として事業を進めようとしているふれあいプラザさかえ隣接地を洪水浸水想定

区域に盛土をしてまで新設することは、国の指針や安全対策の面からも時代の流れに逆行するものであり、選定地を区域外の場所に見直すよう求めるものです。

報告第1号

専決処分報告について 令和5年11月27日に発生した車両の物損事故の和解等について専決処分したので報告するものです。

町政のことが知りたい 一般質問

気候変動対策について

高萩 初枝 問 竜角寺台調整池へ事業者が太陽光発電パネルの設置を提案し、1月に住民説明会が実施されました。その結果と今後の対応及び町は教訓として何を学んだのか。さらに、農地へのパネルの設置手続きと住民説明会の義務づけについて。

答 説明会は計138名の方々に出席いただいた。町の対応としては、竜角寺台地区の意見を優先し、調整池を貸与しないとすることを事業者へ伝えた。また、自治会にも了承いただいたところである。

今回を教訓とし、今後公共用地の活用を図る場合には設置基準などを定め、町からの情報発信や資料の提供など慎重かつ丁寧に行っていくたいと考える。

次に、農地への設置手続きについてだが、第2種農地や第3種農地に設置しようとする事業者は、農地転用の申請手続きをすることとなっており、隣接する土地所有者及び住民への説明の状況などのヒアリングを行っている。また、説明会の義務づけについては、他の自治体で先行的に太陽光発電パネルの設置等に関するガイドラインを整備しているから、それらを参考にしながら関係課と協議検討したいと考えている。

子育て支援について

早川 久美子 問 国のことも未来戦略「加速化プラン」の中で、「こども誰でも通園制度(仮称)」を創設とある。2025年度から給付化し全国の自治体で実践とあるが、町の取り組みについて伺う。

答 町における準備や検討として、一つとして、地域における制度の事業提供可

能量を把握し、計画的な提供体制の整備を行うこと。二つとして、地域でのように提供体制を整備していくのか検討を始めること。三つとして、現行の子育て支援事業や一時預り事業、市町村独自のこどもの受け入れ等に関する事業との関係など、地域の実情を踏まえた各事業の展開を行うことなどが求められている。

町では、今後の取組みとして、制度に関する情報の共有と事業実施に向けての協力依頼を保育園や幼稚園等に行う予定である。その後、協議を行ないながら、令和8年度の給付化へ向けての検討を進めていく。

#### 栄町第5次総合計画の基 本目標について

地ということもあり、町と教育委員会で協力して進めていかなければならない。そして、他の候補地も土台に上げて再検証をする。その上で、地震への安全性や予算の縮減についても併せて進めていく。さらに、今の児童数や必要な食数から、どのくらいの面積が必要なのかというところからスタートして、必要な面積に該当する候補地を選んで検証していく。

ン設置を進めていく。二点目として、成田空港のさらなる機能強化により、雇用の増加や空港と地域の一体的な発展が見込まれることから、矢口地区をはじめ、町内の市街化調整区域について、計画的に取り組みを進めていく。

本塾線バイパスは本年3月に開通する運びとなり、当町においては沿道ポテンシャルエリアとして都市計画マスタープランにも位置づけられているとおり、将来の土地利用を展開するうえで重要な地区と言える。

また、千葉県が進める成田空港周辺の地域づくりに関する実施プランの中でも十五町歩を含む複数の地区を選定し産業振興策としているところである。

今後の展望としては、鎌ケ谷本塾線バイパスの完成が当初予定より遅れたことによつて、まちづくりにも影響は少なからずあったと考えるが、まちづくりが推進できるよう関係機関と連携して進めていきたいと考えている。

#### 給食センター立地問題

岡本 雅道

問 給食センター用地の再検証とあるが、再度というなら一度目はどんな検証をやり、再検証では何をどう検証するのか。

答 一回目の検証はこれまで話してきたとおりであり、候補地1、2、3のそれぞれの特徴やデメリット、それと現地視察など、そのような検証をしてきた。再検証については、町有

新井 茂美  
問 町長が挙げた8つの公約に基づき、栄町第5次総合計画後期基本計画の基本目標が定められていると思いますが、これから早急に取り組むべき課題について伺います。

大野 信正  
問 平成20年の行政報告で県道鎌ケ谷本塾線バイパスに隣接する十五町歩地区において「沿道サービスと商業業務系の施設を誘致し活力を生み出す」との考えが示され16年が経過した。開発計画の進捗状況及び今後の見通しについて伺う。

塚田 湧長  
問 人口減による町税や普通交付税など収入減少の中で、現在計画中の大型建設事業の各々の事業費を見込んだ長期財政計画を伺う。

#### 長期財政見通しについて

塚田 湧長

問 人口減による町税や普通交付税など収入減少の中で、現在計画中の大型建設事業の各々の事業費を見込んだ長期財政計画を伺う。

答 千葉県が平成8年から着手した主要地方道鎌ケ谷

事業④安食駅改築事業  
答 ①については、長期財政見通しでは、令和13年度までの負担金総額15億9,922万1千円だったが、最新の事業費見込み等を反映した町負担見込みが示され、17億1,662万9千円となっている。

②については、長期財政見通しでは、施設老朽化対策工事として、事業費5,500万円とされていたが、現時点ではドラムの里の長寿命化対策工事費として、3億8,214万5千円を見込んでいます。

③については、長期財政見通しでは、13億6,900万円での建設を予定していたが、建設用地候補の再検証、センターの多機能化や建設経費の縮減に向けた様々な検討を進めることから事業費については今後の検討となる。

④については、長期財政見通しでは、駅舎整備及び自由通路改修工事を盛り込み、13億5,980万円を盛り込んでいたが、町とJRが協議のうえ、鉄道駅のバリアフリー化として、エレベーター改修のほか、2番線への簡易改札設置により利便性を向上させること

を優先させることとした。  
なお、令和6年度予算では、J Rが実施する調査設計費のうち、町負担分として1/3の833万3千円を計上している。

矢口工業団地拡張事業特別会計について

問 平成27年の設置以来今日に至るまでの総決算とその功罪について問う。

答 本特別会計は、平成27年2月18日に日本食研ホールディングスから矢口工業団地拡張の協力要望がなされ、町では日本食研への協力をするため、特別会計の設置条例を同年3月議会で可決された。その後、6月議会において議会の全面的支援を決議いただき、今日まで議会の協力を得て、事業を進めることができた。

8年に及んだ事業は造成、工事が完了したことから、今回特別会計を廃止する議案を提出したところである。事業にかかった決算額については、歳入歳出それぞれ12億9,981万円となる。

町にとつて重要な事業として進めてきた約3.6ヘクタールの基盤ができたこ

とで、課題であった雇用の場が今後確保されていくことから、一定の成果があったと考えている。

地震災害対策について

問 能登半島地震について、どのような認識を持つたか伺う。また給食センター建替候補地に盛土をする計画があるが、この度の地震では液化化や地盤変化が起きた。現在の候補地でもその可能性はあると思うが、どのような考えか伺う。

答 今回の地震で痛感したことは、私たちの生活を支える電気・水道・ガス・通信・道路が壊滅的被害を受けた地域が広範囲に広がっていたことによる影響が大きかったことである。

また、行政職員も被災したことで、特に初期の段階では支援が行き届かないケースがあった。そのようなことから、自助・共助が大切であり、それが前提で公助が成り立つことを認識させられた。今後は、町民の方々と共に、どのような備えや訓練を行っていかなければならぬか、再検討していきたいと考えている。

次に、給食センター建替候補地については、教育委員から、給食センター用地の検討について発議があった。教育委員会としては、教育委員会臨時会議に「給食センター用地の検討について」を上程し、他の候補地を含めた建設用地の適否について再検証するとともに、多機能化や建設経費の縮減に向けた様々な検討を教育委員会と町部局が連携して進められるよう、議決され、町長へ申し出たところである。

給食センター建設について

問 給食センター建設に関して、町民の中に様々な理解があるようだが、正しく理解してもらうために何かお考えはありますか。①建設コストについて②浸水リスクについて

答 町民の皆さんの中に様々な理解がある事は、感じるところである。確定していない情報をお知らせすると、町民に混乱を生じさせるおそれや特定の者に不当な利益や不利益を及ぼすおそれが考えられることから、議員に限り説明に努め

その他の一般質問

高萩 初枝  
・教職員の負担軽減策について  
早川久美子  
・認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

岡本 雅道

調整池について

新井 茂美

・栄町第5次総合計画の重点プロジェクトについて

大野 信正

・避難所の整備計画について

・自然環境・生活環境(全世代満足度トップ)より、町中住宅地、町民散策道沿いで見かける太陽光発電パネルの現況について

松島 一夫

・わが町の学校教育について

大塚 佳弘

・国民健康保険について

590万円と見込んだ。

②浸水リスクについても、

国が令和2年6月に策定した「災害に強い官公庁施設づくりガイドライン」が示す技術基準から、町でも安全性に配慮し、盛土を行い浸水リスクに対応することとしている。

野田 泰博

給食センター建設に関して、町民の中に様々な理解があるようだが、正しく理解してもらうために何かお考えはありますか。①建設コストについて②浸水リスクについて

答 町民の皆さんの中に様々な理解がある事は、感じるところである。確定していない情報をお知らせすると、町民に混乱を生じさせるおそれや特定の者に不当な利益や不利益を及ぼすおそれが考えられることから、議員に限り説明に努め

岡本 雅道

・栄町第5次総合計画の重点プロジェクトについて

大野 信正

・避難所の整備計画について

・自然環境・生活環境(全世代満足度トップ)より、町中住宅地、町民散策道沿いで見かける太陽光発電パネルの現況について

松島 一夫

・わが町の学校教育について

大塚 佳弘

・国民健康保険について

590万円と見込んだ。

②浸水リスクについても、

国が令和2年6月に策定した「災害に強い官公庁施設づくりガイドライン」が示す技術基準から、町でも安全性に配慮し、盛土を行い浸水リスクに対応することとしている。

野田 泰博

給食センター建設に関して、町民の中に様々な理解があるようだが、正しく理解してもらうために何かお考えはありますか。①建設コストについて②浸水リスクについて

答 町民の皆さんの中に様々な理解がある事は、感じるところである。確定していない情報をお知らせすると、町民に混乱を生じさせるおそれや特定の者に不当な利益や不利益を及ぼすおそれが考えられることから、議員に限り説明に努め

岡本 雅道

・栄町第5次総合計画の重点プロジェクトについて

大野 信正

・避難所の整備計画について

・自然環境・生活環境(全世代満足度トップ)より、町中住宅地、町民散策道沿いで見かける太陽光発電パネルの現況について

松島 一夫

・わが町の学校教育について

大塚 佳弘

発行者 栄町議会だより編集委員会  
野田泰博(委員長)、高萩初枝(副委員長)  
大野信正、大野博、塚田湧長、大塚佳弘  
連絡先 栄町議会事務局  
栄町安食台一丁目2番  
☎ 33-7715 FAX 95-4274  
✉ gikai@town.sakae.chiba.jp  
会議の詳細につきましては、今後発行される会議録またはホームページをご覧ください。なお、6月定例会は、6月4日(火)~14日(金)までを予定しています。※請願書及び陳情書については、議会運営委員会の審査を受けることを原則としているため、5月27日(月)必着で提出くださるようお願いいたします。